

(様式2(1))

グループホームスリール長田

令和4年3月8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	月1回、研修及びスタッフ会議において運営理念を共有する機会を設けているが職員一人ひとりが事業所理念を理解し、意識して利用者様のケアができていない。	職員一人ひとりが事業所理念を理解し、日々入居者に関わる際に、何をすべきかを意識できるケアをする。	○朝・夕の申し送りの時に声にして事業所理念を読み、理解する。 ○日々入居者に関わる際に、何をすべきか意識できるように職員と一緒に検討し計画書をだす。	12ヶ月
2	10	複数の家族に運営推進会議に参加していただくよう手紙で知らせたり、電話や携帯電話のショートメール機能を活用して入居者の状況を家族にお知らせしているが独居していた入居者のキーパーソン(親族・後見人・ケアワーカー等)に入居者の状況を、お知らせできていない。	家族に運営推進会議に参加していただくよう手紙で知らせたり、電話や携帯電話のショートメール機能を活用して入居者の家族に入居者の状況をお知らせするように独居していた入居者のキーパーソン(親族・後見人・ケアワーカー等)にも入居者の状況をお知らせする。	○独居していた入居者のキーパーソン(親族・後見人・ケアワーカー等)に電話や携帯電話のショートメール機能を活用して入居者の状況をお知らせする。 ○第三者評価の家族アンケートを独居していた入居者のキーパーソンにお願いして書いてもらう。	12ヶ月
3	35	消火訓練は昼間の想定で年2回、地域住民に見てもらい理解を得るために、運営推進会議開催の日に通報・避難・消火訓練を行っているが夜間体制での訓練は行っていない。	夜間の火災を想定し速やかな避難、職員への応援要請、近隣の協力体制を取り組み、夜間想定訓練を行う。 水や食料、衛生用品、トイレ、個人の薬などの情報をまとめて書き出しておく。	○年に2回の消防訓練のうち1回は夜間想定訓練を行う。 ○水や食料、衛生用品、トイレ、個人の薬などの情報をまとめて書き出し職員と共有する。	12ヶ月
4	45	週2回入浴できる環境を整え入居者の希望を聞きながら職員間で情報を交換し入居者の意向に沿い入浴できるように支援を行っているが四季を感じる季節湯はしていない。	週2回の入浴時、入居者の希望を聞きながら職員間で情報を交換し入居者の意向に沿い季節を感じて楽しんでもらえる入浴にする。	○入浴時、利用者の希望を聞き職員間で共有できるように申し送りノートに記入する。 ○季節を感じられる入浴剤を用意する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。